

ファミリーレコード ベーシック版 マニュアル

基本的な使い方

1. **亡くなった方の戸籍を集めます**：亡くなった方（被相続人）の出生から死亡までの戸籍を集めます。
2. **人物カードを作る**：被相続人の戸籍から判明した情報を基に、人物カードを作成していきます。氏名・生年月日・続柄・戸籍の異動などを入力できます。
3. **相続人の戸籍を集める**：被相続人の戸籍から判明した情報を基に、必要な相続人の戸籍を集めます。
4. **人物カードを作る**：集めた戸籍から、必要な人物カードを作成します。
5. **配置をととのえる**：カードの配置をととのえて、図を完成させます。
記載については、法務局ホームページの法定相続情報一覧図の記載例等をご参照ください。
6. **出力する**：完成した図を「Word 出力」「PDF 出力」で書き出せます。

1. 基本操作

ファミリーレコードでは、人物カードをマウスで選択・移動しながら、相続関係図を簡単に作成できます。人物間を結ぶ関係線は自動で作成されてカードの動きに追従するため、線を引き直す手間がありません。複数枚にわたる図でも、用紙間の位置合わせは不要です。

操作	内容
左クリック	人物カード、線、文字などを選択します
ドラッグ	選択した人物カードや文字を移動します
ESC キー	選択を解除します（何もない場所をクリックでも解除できます）
Delete キー	選択中の人物カード、線、文字を削除します

2. 人物カードの操作・編集

人物カードを選択する

人物カードまたは、画面左の人物一覧を左クリックすると、その人物カードが選択されます。ダブルクリックで、編集パネルが表示されます。編集パネルでは、氏名、生年月日、死亡年月日、住所、本

籍、続柄などの入力・修正のほか、家族関係を設定します。入力欄は TAB キー、数値入力欄では ENTER キーを用いると入力が速く出来ます。

人物カードを移動する

人物カードをクリックしたままドラッグすると、カードを移動できます。カードを移動すると、親子線や夫婦線などの関係線もあわせて表示位置が調整されます。

3. マウスホイールの操作

操作	内容
マウスホイールを上下に回転	画面全体を拡大・縮小します
マウスホイールを押しながらドラッグ	画面拡大時にキャンバスを上下左右に移動します

人物カードが画面の下のほうにある場合や、複数ページ分の図を作成している場合に便利です。

4. ショートカットキー

ショートカット	機能
Q キーを押しながら W キー	全カードの選択
A キーを押しながら S キー	補助パレットの呼び出し
Z キーを押しながら X キー	新規カードの追加

5. 関係線

ファミリーレコードでは、人物同士の関係を線で表示しています。

線の種類	意味
二重線	夫婦関係
単線	親子関係
点線	養子関係

線はクリックしてドラッグすると位置を調整できます。人物カードを動かすことによっても調整でき

ます。

6. 整列

「整列」ボタンを押すと、人物カードが世代順に左から右へ自動で並びます。

7. 設定

項目	内容
フォント	明朝体、ゴシック体、文字サイズを設定します
用紙の枚数	A4 縦の枚数を設定します。ベーシック版では横 1～3 枚・縦 1～3 枚（最大 9 ページ）まで設定できます
余白	余白を設定できます。余白の枠内に全体を収める自動調節も使えます
カードの大きさ	人物カードの横幅・縦幅を調整します。縦幅は最小の高さとして反映され、文字量が多い場合は自動で広がります

キャンバス上には用紙の範囲が枠線で表示されるため、印刷・出力したときのおさまりを確認しながら配置を調整できます。

グリッド設定

キャンバスにグリッド（方眼）を表示できます。グリッドを有効にすると、人物カードの端がグリッドに沿って配置されるため、カードの位置を揃えやすくなります。

項目	内容
グリッドを表示	グリッドの表示・非表示を切り替えます
ドラッグ中もスナップ	カード移動中もグリッドへ吸着させるかを切り替えます

8. 補助パレット

画面の左上の「補助パレット」をクリックして、呼び出します。

分類	項目	内容
基本	タイトル設定	図のタイトルを入力・編集します

分類	項目	内容
	文字追加	キャンバスに文字を追加します
	奥書き	図の奥書きを入力・編集します
	付箋紙	キャンバスに付箋紙を貼って書き込めます
	マスキング	図の中の見せたくない部分を隠して表示・出力できます
線の定型追加	二重線	夫婦関係の線を追加します
	単線	親子関係の線を追加します
	点線	養子関係の線を追加します
編集	表示/非表示	各要素の表示・非表示を切り替えます
	削除	選択中の要素を削除します
カード	文字位置の調整	人物カードの文字の表示位置を上下左右へ調整します。「文字位置リセット」で元に戻せます
	範囲移動	複数のカードやオブジェクトをまとめて選択し、移動します
	ピン止め	人物カードの配置をピン止めして、動かないようにします

9. 相続計算

被相続人のカードを選択し、「相続計算」ボタンを押します。「計算解除」ボタンで計算状態からリセットできます。数次相続にも対応しており、ベーシック版では 6 次相続まで計算できます。なお、計算できる人数は、お使いの PC の性能や使用状況により制限される場合があります。

相続計算では、作成した相続関係図をもとに、民法の定めにしたがって法定相続人と法定相続分を判定します。

ベーシック版が自動計算するのは、昭和 56 年 1 月 1 日以降に開始した相続です。死亡年月日がそれより前の場合は「計算対象期間外の相続です」と表示され、相続人と相続分の自動判定を行いません。作図・人物カードの入力・必要戸籍整理表・Word/PDF 出力は、期間にかかわらずご使用いただけます。

■ 法定相続の移り変わり

参考として、法定相続の移り変わりを画面に表示できます。このうち自動計算を行うのは 1 のみで、

2～4は参考情報です。

1. 昭和56年1月1日～現在（ベーシック版の自動計算の対象）
2. 昭和23年1月1日～昭和55年12月31日
 - ・新民法制定（昭和55年改正前）
3. 昭和22年5月3日～昭和22年12月31日
 - ・応急措置法期の相続
4. 明治31年7月16日～昭和22年5月2日（旧民法）
 - ・家督相続（戸主の死亡・隠居・入夫婚姻等により発生）
 - ・遺産相続（戸主以外の家族の死亡により発生）

■ 兄弟姉妹の代襲相続

- ・兄弟姉妹の子（甥・姪）までを代襲相続人として計算します。

■ 婚外子（非嫡出子）の扱い

- ・父側の非嫡出子は、「認知あり」と「認知なし・要確認」に分けて確認します。
- ・平成25年9月4日以前に開始した相続では、認知ありの非嫡出子の相続分を嫡出子の1/2として計算します。
- ・平成25年9月5日以降に開始した相続では、認知ありの非嫡出子を嫡出子と同等として計算します。

※ なお、判例等により相続分が一義的に定まらない場合もありますので、計算結果は必ずご確認ください。

10. 管理台帳・必要戸籍整理表

管理台帳では、案件を一覧で管理できます。管理台帳を開くと、これまでに作成した人物カードや相続計算の過程などの情報が一覧表示されます。

必要戸籍整理表では、戸籍の請求・取得の状況を管理できます。CSV出力に対応しており、出力したデータはExcelやWordなどで作成した戸籍請求書の様式に活用できます。

11. 人物カードの表示

メモ欄に入力した内容を、人物カードに表示できます。メモの表示位置は変更でき、メモ欄だけを表示することもできるため、表示の自由度が高まります。また、メモ欄に「*」を入力すると、その部分が空白として表示されるため、文字の位置合わせにも利用できます。メモ表示、メモ日表示にチェ

ックを入れることで、人物カードの表示を変更することができます。

12. Word 出力・PDF 出力

ボタンを押すだけで、簡単に出力を行うことができます。枚数が多量になる図でも、用紙間の位置合わせは不要です。

その他

ファミリーレコードは、人物・戸籍・親族関係・相続情報をクラウドへ送信せず、作業端末内のみで処理する設計です。特に戸籍の情報には、氏名・生年月日・住所のほか、婚姻・離婚・養子縁組・認知・死亡、親族関係といったセンシティブな事項が含まれ、万一外部に流出した場合の影響が大きいことから、通信そのものを行わない構成を採用しています。